

水産物の市況について(令和5年9月及び令和5年10月)

—東京都中央卸売市場における令和5年9月(令和5年8月21日～令和5年9月20日集計)の市況と、
令和5年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和5年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや増加で推移し、前年同月比でもやや増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

II 令和5年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品・冷凍品の入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
5年	27	1,446	24	1,520	26	1,425
前年	25	1,433	26	1,358	28	1,345

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	463	101	80	102
さけ類(平均)	1,295	111	97	128
(ぎんざけ塩蔵品)	1,249	104	101	125
(あきさけ塩蔵品)	1,025	90	102	118
(べにざけ塩蔵品)	1,486	100	108	103
(さけ類冷凍品)	1,334	116	97	137
さば(生鮮品)	502	94	87	96
するめいか(平均)	1,146	85	119	135
(生鮮品)	1,091	85	112	127
(冷凍品)	1,569	100	169	194
あじ(生鮮品)	539	68	69	85
まぐろ(冷凍品)	1,621	102	80	103
(めばち冷凍品)	1,057	96	73	93
(きはだ冷凍品)	854	100	60	82
(くろまぐろ冷凍品)	4,087	107	102	122
(みなみまぐろ冷凍品)	2,305	98	85	114
かつお(生鮮品)	725	111	79	128
さんま(生鮮品)	1,200	97	106	134

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成30年~令和4年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 贄田、西村

直通 03-3591-5613